

## M3T-ICC740 ご使用上のお願い

740ファミリ用クロスツールキット(IAR Systems社製ツール版)M3T-ICC740 の使用上の注意事項を連絡します。

- #includeの記述に関する注意事項
- ライブラリアンxlibの使用に関する注意事項

### 1. #includeの記述に関する注意事項

#### 1.1 該当製品

M3T-ICC740 V.1.00 Release 1 ~ V.1.00 Release 1A

#### 1.2 内容

標準インクルードフォルダ(\*1)にあるインクルードファイルを、#includeのオペランドに " で囲って記述している場合に、TMの依存関係を更新して(\*2)ビルドするとエラーが発生します。

\*1 ICC740コンパイラ本体がインストールされているフォルダ内の"inc"フォルダ

\*2 TMの依存関係を更新するには、「依存関係の更新」ボタンまたは「プロジェクト」メニュー→「依存関係の更新」をクリックする。

[発生例]標準インクルードフォルダにある"intr740.h"をインクルードする例

```
-----  
#include "intr740.h"  
-----
```

#### 1.3 回避策

標準インクルードフォルダにあるファイルは<>で囲って記述してください。

```
-----  
#include <intr740.h>  
-----
```

## 1.4 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

## 2. ライブラリアンxlibの使用に関する注意事項

### 2.1 該当製品

M3T-ICC740 V.1.00 Release 1 ~ V.1.00 Release 1A

### 2.2 内容

TMのプロジェクトエディタのオプションブラウザで、ライブラリアンxlibのARFLAGSを編集すると、プロジェクトエディタが不正終了します。

### 2.3 回避策

xlibは、TMからは実行できませんので、「コマンドプロンプト」または「MS-DOSプロンプト」から実行してください。

xlibの実行ファイルは、ICC740コンパイラ本体をインストールしたフォルダ内の"bin"フォルダにあります。

※ コマンドプロンプトおよびMS-DOSプロンプトは、OSの「スタートメニュー」から起動できます。

### 2.4 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

---

#### **[免責事項]**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。